

んでした！なんか「リンゴ」という言葉は出たのですが、前後まったくわからず、運転手さんが笑ったので一緒に愛想笑いをしてみました。秋田でその話をしたら、「秋田にいたら少しわかるようになる」とのこと。隣県にとっても津軽弁は強敵のようです。

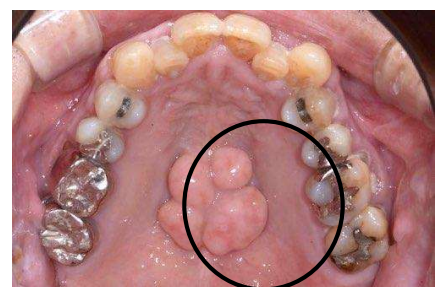
ただ、ずっと東京に住んでいて思うのは、方言はともコミュニケーションがとりやすそうだという事です。青森でも秋田でも京都でもそうですが、方言同士の会話を聞いていると感情がとも伝わっている感じがしました。そもそも標準語などというものはなく、方言でないものが標準語なのですが、方言に比べ感情表現が難しく、伝えるにくい言葉だと感じます。

ちなみに僕は広島出身なので広島弁のネイティブです。小学生の時、国

語で方言の授業があり、東北や九州などにはクセの強い方言があるということ学びました。その後休憩時間、「むしろ広島じゃけん、方言なくてよかったのう！」「ほうじやのう！」と友人と言い合ったことを覚えていきます。

骨隆起

先日、訪問看護師さんから「口の中にがんがあるかもしれないから診てほしい」という依頼がありました。訪問してみみると、骨隆起と言われるものでした。下の写真は上顎の天井部分にできた骨隆起です。顎の骨が隆起して、形態変化を起こしたものです。これは歯ぎしりなどが原因と言われています。歯に大きな力が



加わると、それを支えている顎の骨にも負荷がかかります。一時的であれば変化は起こりませんが、長期間にわたって大きな力が加わると骨が過剰に発達すると考えられています。骨折の自己防衛という意味もありそうです。

判別基準は、とにかく硬いことです。好発部位は下顎の内側、上顎の天井（口蓋）などです。多くの場合は痛みもなく、処置をすることはありません。大きさや形は別として、意外と多くの方にあるものです。皆さんの口の中にあるかもしれません。そして僕の口の中にも…